

2021年（令和3年）
大雪山・裏旭野営指定地への
携帯トイレブース設置に向けたアンケート調査報告書



2022年（令和4年）2月
裏旭野営指定地 携帯トイレ検討連絡会

目 次

1. はじめに-----	1
2. 登山者アンケート調査の目的と概要-----	2
3. 登山者アンケート調査結果	
3-1. 第1部；宿泊者へのアンケート調査結果-----	3
3-2. 第2部；通過者へのアンケート調査結果-----	11
3-3. 登山者アンケート調査 全体結果のまとめ-----	17
4. 定点カメラによる設営テント数調査-----	18
5. 登山者アンケート調査に関する資料	
1) 裏旭野営指定地の携帯トイレに関するアンケート用紙（宿泊者用,通過者用）-----	24
2) 裏旭野営指定地・アンケート調査 実施報告書-----	28
3) 登山者アンケート調査を担当した調査員の感想-----	37
4) アンケート調査員が撮った写真-----	38
6. あとがき-----	40

〈表紙写真撮影：NPO法人大雪山自然学校 川村兼仁氏 2021.7.22 裏旭野営指定地〉

1. はじめに

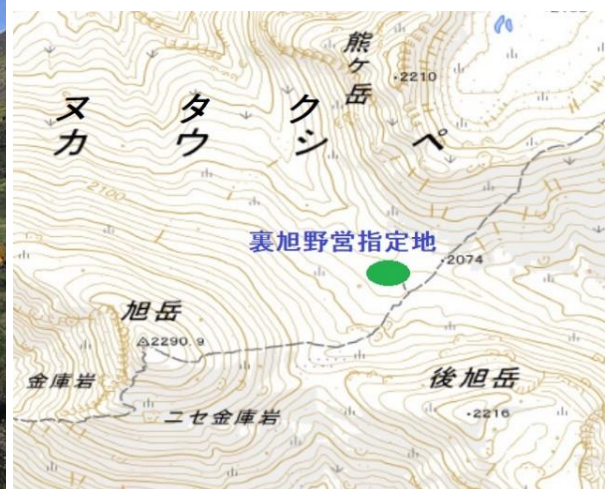
大雪山国立公園は、原生的な山岳景観と高山植物が咲き誇る美しい自然環境が魅力の日本の宝である。その宝のために 2018 年（平成 30 年）、大雪山国立公園連絡協議会の構成組織と北海道内の山岳団体や自然保護団体、山岳ガイド団体等により大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言がなされた。宣言本文の中の 1 つに「登山者に快く携帯トイレを使ってもらえるような環境づくりを行います」と高らかに謳っている。

そんな中で、表大雪の主要な登山コースに位置する大雪山・裏旭野営指定地は、大雪山・旭岳（2,291 m）の山頂から東方向に距離で約 800 m 下った標高約 2,074 m の高所にある野営指定地である。残雪からの清冽な水も豊富で景観もよく、周辺はキバナシャクナゲやエゾコザクラの群落地で素晴らしい場所だが、トイレの無い野営指定地である。

このトイレが無い野営指定地の自然環境保全を憂いて、北海道の山岳団体、自然保護団体、山岳事業者、ガイド協会、研究者で、携帯トイレブースの必要性について検討する「裏旭野営指定地携帯トイレ検討連絡会」が設立された。連絡会の中で実行可能な団体が協働して 2021 年（令和 3 年）の登山シーズンに現地でアンケート調査を実施し、登山者の携帯トイレに対する意識、排泄状況実態等を明らかにしたいと考えた。



気持ちのよい裏旭野営指定地



裏旭野営指定地マップ

以下は、連絡会設立に賛同した18団体。アンケート調査実施団体(7団体)は下線で示す。

日本山岳会北海道支部、北海道山岳連盟、札幌山岳連盟、道央地区勤労者山岳連盟、NPO法人大雪山自然学校、大雪と石狩の自然を守る会、旭川勤労者山岳会、旭川山岳会、大雪山倶楽部、北海道山岳整備・大雪山山守隊、NPO法人かむい、北海道大学(愛甲研究室)、山楽舎B E A R、北海道山岳ガイド協会、H A T北海道、大雪山国立公園パークボランティア連絡会、山のトイレを考える会(事務局)

2. 登山者アンケート調査の目的と概要

1) 調査の目的

調査は、裏旭野営指定地(以下、裏旭と称す)を宿泊利用する登山者の「携帯トイレ使用に対する意識調査」と「裏旭での排泄状況実態把握」を行うことを目的とした。また、裏旭を通過する登山者からは、「裏旭に携帯トイレブースが設置された場合の利用可能性」の割合を掴むことを目的とした。その他に宿泊登山者と通過登山者との意識の比較を行うことも考慮した。

2) 調査の概要

登山者アンケートの回答用紙は、「宿泊者用」と「通過者用」の2種類を用意した。

「宿泊者用」は調査員が裏旭にテント宿泊して、可能な限り宿泊登山者全員にアンケート用紙(宿泊者用)を渡して依頼し、記入してもらった後に回収した。また、調査員は別途可能な時間帯に、裏旭の脇の登山道を通過する登山者へ(通過者用)アンケート用紙を配布依頼し、その場で記入してもらい回収した。



宿泊者へのアンケート調査模様



通過者へのアンケート調査模様

各団体のアンケート調査実施状況は下記のとおりである。〔 〕は実施日の天候。

- ・ 7月11日（日） ：日本山岳会北海道支部〔(土)は荒天で中止・曇り〕
- ・ 7月11日（日）～12日（月） ：山のトイレを考える会〔雨・濃霧〕
- ・ 7月17日（土）～18日（日） ：北海道山岳連盟〔晴れ・晴れ〕
- ・ 7月22日（木）～23日（金） ：NPO法人大雪山自然学校〔晴れ・晴れ〕
- ・ 7月24日（土）～25日（日） ：道央地区勤労者山岳連盟〔曇り・晴れ〕
- ・ 7月31日（土）～8月1日（日）：山のトイレを考える会〔晴れ・濃霧〕
- ・ 8月7日（土） ：札幌山岳連盟〔晴れ・(日)は荒天予報で中止〕
- ・ 8月21日（土）～22日（日） ：北海道山岳連盟〔曇り・晴れ〕
- ・ 8月28日（土）～29日（日） ：大雪と石狩の自然を守る会〔両日とも濃霧と強風〕
- ・ 9月4日（土）～5日（日） ：旭川勤労者山岳会（新型コロナ緊急事態宣言発令で中止）

なお、荒天で調査日が1日だけとなった事例は、宿泊登山者アンケート調査は出来なかった。

また、調査に際しては上川総合振興局南部森林室へ入林承認申請の手続きを行い承認を得た。

3. 登山者アンケート調査結果

登山者アンケート調査の全体では、2021年(令和3年)7月10日～8月29日の間、7団体で9回実施し、アンケート回収数は、宿泊者72枚、通過者95枚(有効回答84枚)であった。

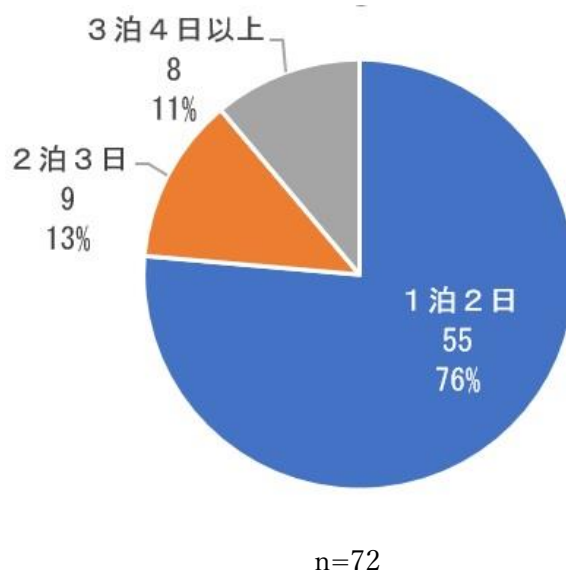
その他に、調査員から実施報告書を提出してもらった。

9月に入った調査予定は、北海道内全域で新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が発令されたため中止とした。

3-1. 第1部；宿泊者へのアンケート調査結果

宿泊者全員へのアンケート依頼を目指したが、日没後に到着し朝早く出発したテント泊者等アンケート依頼が出来なかった事例もあった。以下に宿泊登山者から得た回答結果を記す。

問1 (宿泊者) 山中何泊の登山ですか。



2泊3日以上の前泊地と次泊地 (人)

前泊地	白雲岳避難小屋2、黒岳石室2
次泊地	白雲岳避難小屋5、黒岳石室2 忠別岳避難小屋1
裏旭2泊	3
未記入	2
(合計)	17人

凡例； nはその設問でのアンケートの回答数を示す。母数ともいう。

- 〔考察〕 1. 調査期間中に裏旭野営指定地を利用した登山者は、登山中の宿泊日数が1泊の登山者の割合が多く76%（4人に3人の割合）であった。
2. 次泊地には以降の縦走の拠点となる白雲岳野営指定地を目指す割合が多かった。

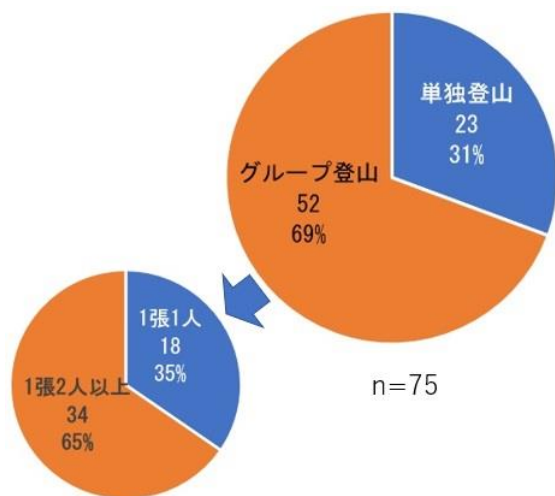
問2 (宿泊者) 今回の登山コースはどれですか？ (n=72) ※RW：ロープウェイ



- 旭岳周回(旭岳RW－旭岳－裏旭泊－間宮岳－裾合平－旭岳RW)
- 旭岳-黒岳縦走(旭岳RW－旭岳－裏旭泊－黒岳－黒岳RW)orその逆
- 大雪山縦走(旭岳RW－旭岳－裏旭泊－白雲岳)orその逆
- 大雪山・十勝連峰縦走(旭岳RW－旭岳－裏旭泊－忠別岳－トムラウシ－十勝連峰)orその逆
- 旭岳RW-裏旭-旭岳RW
- その他

- 〔考察〕 1.裏旭1泊で裾合平を経由する旭岳周回コースと、裏旭1泊で旭岳－黒岳縦走コースの人气が高く、合わせると全体の72%を占めた。
- 2.(想定されることであるが)旭岳ロープウェイを利用（下山も含む）して裏旭に宿泊している登山者は、約9割を占める。

問3 (宿泊者) 今回の登山のパーティー構成について



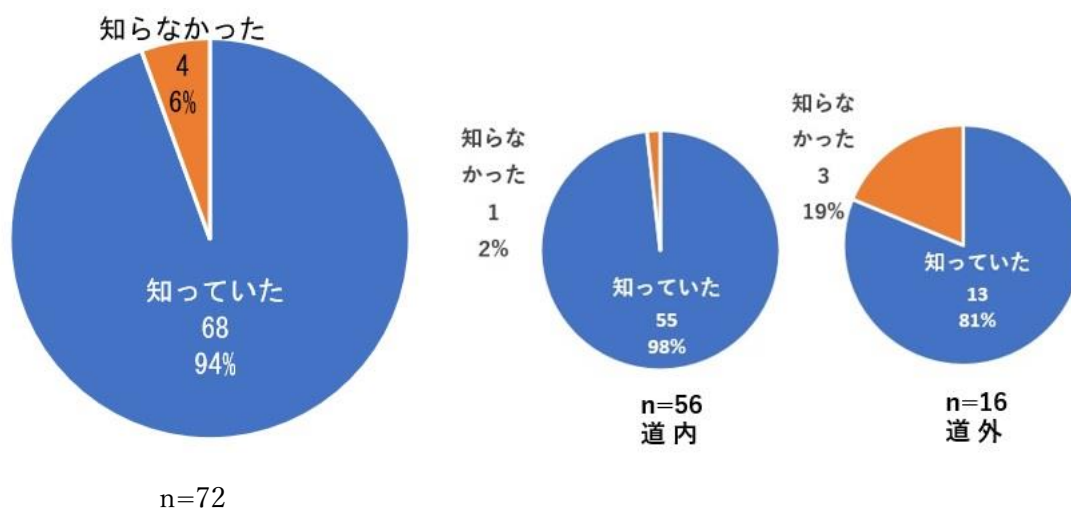
【グループ登山の属性】

① 友人・家族	25人
② 社会人山岳会	21人
③ ツアー登山	0人
④ その他	4人
計	※52人

※アンケート項目未記入者3人を含む

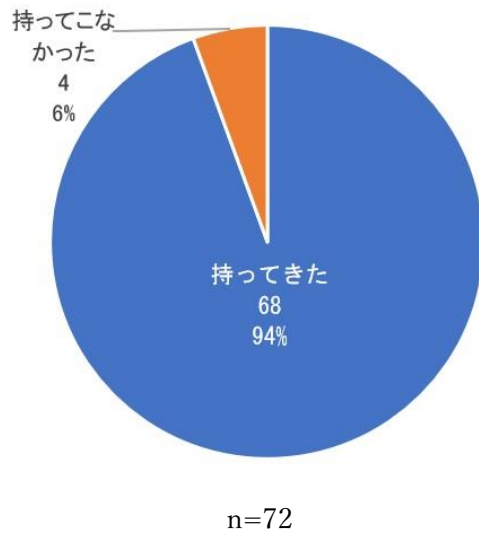
- 〔考察〕 1. 単独登山とグループ登山を比較すると、グループ登山者の割合が多い。
2. なお、グループ登山者52人のうち18人がソロテントを使用。単独登山者と合わせると41人がソロテントである。ソロテント者人数は全体の約55%を占める。
- また、ソロテントの41張は、全体テント数56張の73%を占めた。

問4 (宿泊者) 大雪山全域で携帯トイレの利用をお願いしていることをご存知でしたか？

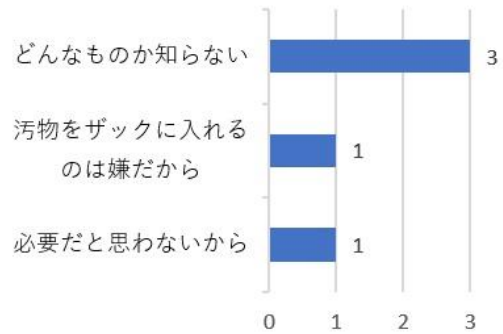


- 〔考察〕 大雪山全域で携帯トイレ利用を薦めていることを宿泊登山者の94%が知っていた。
- 携帯トイレの利用必要性の広報に対する認知率は非常に高い割合であった。

問5 (1) (宿泊者) 今回の登山で、裏旭野営指定地に携帯トイレを持ってきましたか？



問5(2) 持ってこなかった理由(宿泊者)
n=5 (複数回答)



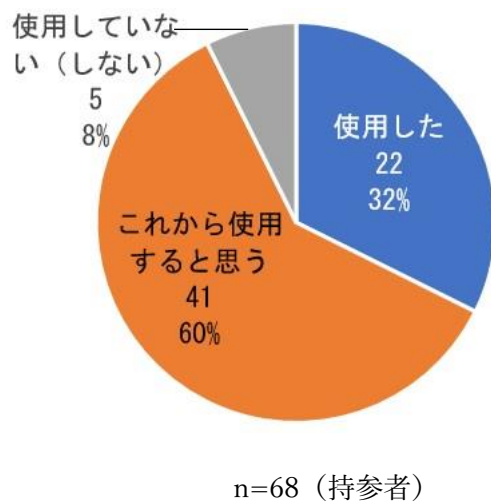
〔考察〕裏旭への携帯トイレ持参率は登山者全体で94%と高い割合であった。また、必要性を知っていた登山者の携帯トイレ持参率は99%と非常に高い割合だった。(1人は知っていたが持参せず)

問5 (2) (宿泊者) 携帯トイレを持ってきていない理由について (複数回答可)

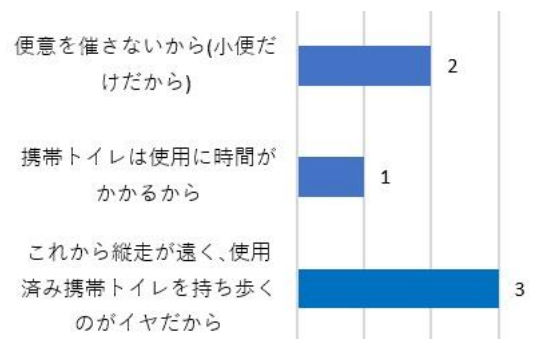
〔考察〕携帯トイレを知らない登山者は(当然に)持参していなかった。他の理由も少数あり。

問6 (宿泊者) 裏旭では携帯トイレブースが設置されていませんが、持参した携帯トイレはどうしますか？

(1) 裏旭で携帯トイレを使用しましたか (これから使用しますか)？



(2) 携帯トイレを使用していない(しなと思う)理由は何ですか？ (複数回答)



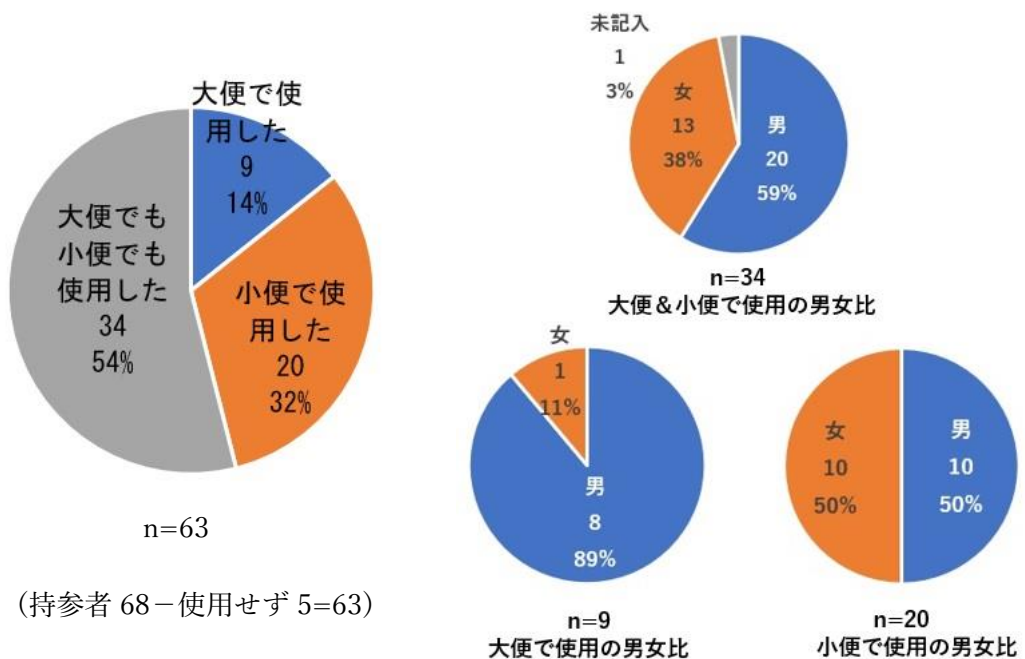
n=6(複数回答)

〔考察〕携帯トイレの持参者は92%が使用した(これから使用すると思うも含む)と回答。

裏旭での携帯トイレ使用率は、ブースが無い状況にもかかわらず大変高い割合である。

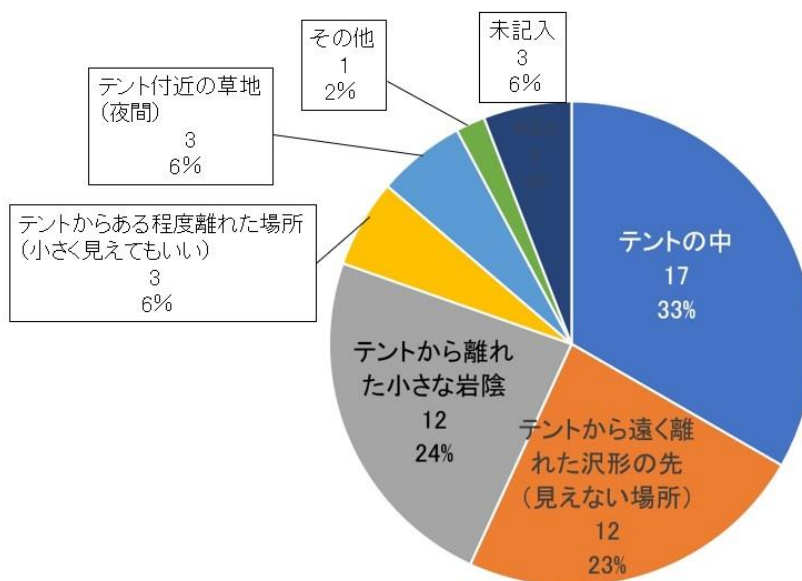
使用しない人は僅かだが、これから縦走が遠く持ち歩くのが嫌だとの理由もあった。

問7 (宿泊者) 使用した(これから使用するも含む)のは、大便ですか、小便ですか？



〔考察〕携帯トイレを使用した(使用するも含む)対象についての質問は、大便(だけ)で使用する割合を推察したい為であった。それぞれ男女比の傾向も示した。大便(だけ)でを使用した(使用するも含む)のは9人のうち男性が8人だったが、「男性は大便では使用するが小便では使用しない」人が一定以上存在すると推察された。

問8 (宿泊者) 裏旭のどの場所で携帯トイレを使用しましたか (これから使用しますか) ?



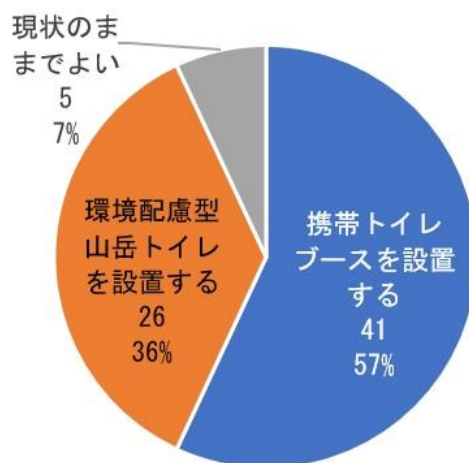
n=51 (注) (全回答者 72 - 未持参者 4 - 使用せず 5 - 仮設ブース利用 12)

(その他) テント泊が私たちだけであり、近くで携帯トイレを使用 = 1 人 (女性)

(注) ツェルトを持参し、仮設携帯トイレブースとして使用した 1 2 人は母数から除いた

〔考察〕裏旭での登山者は、いろいろな方法で苦労して携帯トイレを使用している状況が明らかだった。テントの中で使用した割合が 33% もあり驚く。何とか隠れる場所を探している様子が伺えた。

問9 (宿泊者) 裏旭野営指定地のトイレ問題について、あなたの考えをお聞かせください。



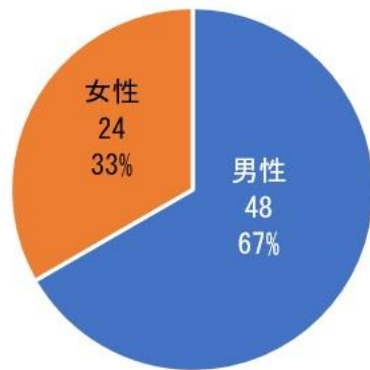
n=72

〔考察〕1. 携帯トイレブースを設置して欲しい要望が 57%、環境配慮型トイレの設置要望が

36%、合計すると 93% がトイレ環境をよくするための整備を要望していた。

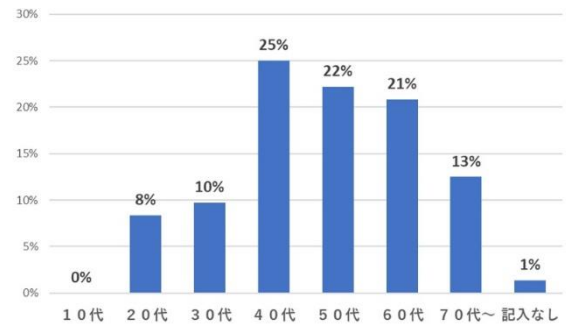
2. 少数ではあるが、現状のままの環境で良いとの意見もあった。

問 1 0 (宿泊者) 性別について



n=72

問 1 1 (宿泊者) あなたの年齢について

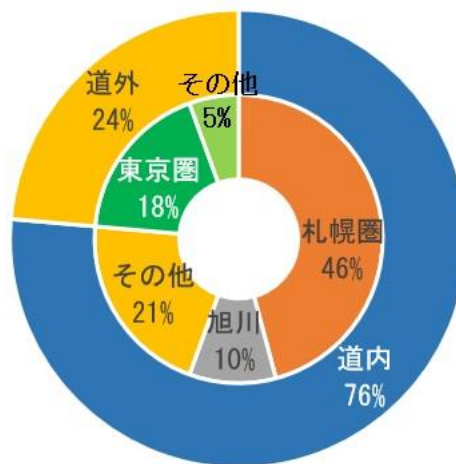


n=72

〔考察〕 アンケート調査時に裏旭へ宿泊した登山者の性別は、男性 67%、女性 33%であった。

年齢層は、40代・50代・60代で合計 68%を占めていた。

問 1 2 (宿泊者) あなたのお住いの都道府県と市町村について



n=72

〔考察〕 アンケート調査時に裏旭へ宿泊した登山者の住所は、道内 76%、道外 24%であった。

その内、道内の中では札幌圏が全体の 46%、旭川圏が 10%を占めていた。道外では東京圏が 18%と最も多かった。

その他；(宿泊者) アンケート回答者の自由記載によるご意見・感想 (順不同)

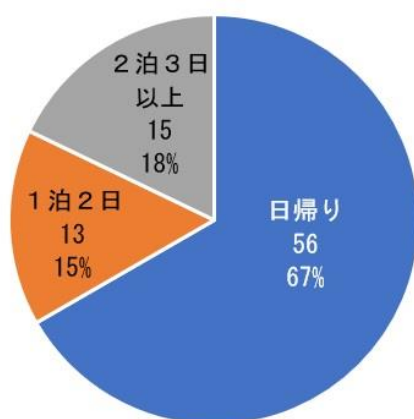
- ① 携帯トイレブースは6～9月の期間に設置をお願いしたい。
- ② 女性としては、姿が見えないことがありがたいので、ブースだけでもあると助かる。
- ③ トイレ問題について、環境にも登山者にとっても良い方法をみんなで共通理解し、取り組みが普及すると良いです。
- ④ バイオトイレの設置をお願いしたい。
- ⑤ 裏旭野営地は景観がよく、水も豊富で素晴らしいテント場である。
- ⑥ 裏旭野営地はトイレがなく、隠れる場所がない。携帯トイレを使う環境にない。特に女性は裏旭野営地での宿泊を敬遠する。
- ⑦ 大雪山の携帯トイレ普及宣言の名に恥じないように、早急に常設型携帯トイレブースの設置を望む。
- ⑧ 裏旭野営地は綺麗な環境である。キバナシャクナゲが満開であった。トイレの環境問題が解決されれば最高のテント場になると思う。
- ⑨ 活動をしているボランティア団体の会の幟があったので何の目的で活動されているか一目で分かった。今後も啓発活動に頑張ってもらいたい。
- ⑩ 小便は、500 mlのペットボトル (広口のピー (pee) ボトル) を使用した。大便は携帯トイレを使用した。
- ⑪ トムラウシ南沼野営地のように携帯トイレブースがあるとありがたいです。
- ⑫ ここは旭岳から黒岳の縦走路上のため、トイレブースが設置され、周知が十分にされて、登山者においてブースが「ある」と認知されれば、環境面で良いことだ。また、トイレが嫌だから水分を控える熱中症というものも予防できると思う。姿見の池にあるトイレブースはあまり意味がないと思うので、裏旭野営地に設置してもらいたいです。
- ⑬ ご苦労様です。この素晴らしい環境を守って頂いている方々への感謝の念でいっぱいです。
- ⑭ お疲れ様です。活動に感謝いたします。
- ⑮ ガス(霧)で周りが見えなく裏旭テント場の場所が判りづらかった。分岐に標識があると良い。

3-2. 第2部；通過者へのアンケート調査結果

裏旭野営指定地の脇の登山道を通る登山者へ「通過者用」のアンケート用紙を配布して調査を行った。調査員(宿泊アンケート調査と兼務)が通過者へアンケートを依頼する時間帯は限られており、アンケートは当日の通過者全てを網羅したものではなく限定的な時間帯のアンケートとなると認識したうえで結果を考察した。

「通過者」の考えを最も聞きたいと希望した内容は、「問9. 裏旭に携帯トイレブースが設置されていたら立寄り、携帯トイレを使用しますか？」に関してであった。以下に通過登山者から得た回答結果を記す。

問1 (通過者) 日帰りですか山中泊ですか。(n=84)



n=84

〔考察〕 アンケートを依頼した時間帯の通過者の67%(4人に3人)が日帰り登山であった。

問2 (通過者) 今回の登山コースはどれですか? (n=84)

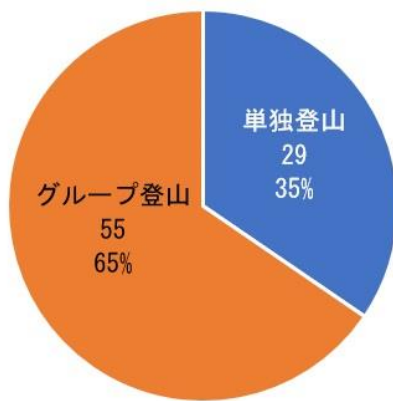
※RW: ロープウェイ



- 旭岳周回 (旭岳RW-旭岳-裏旭-間宮岳-裾合平-旭岳RW)
- 旭岳-黒岳縦走 (旭岳RW-旭岳-裏旭泊-黒岳-黒岳RW) orその逆
- 大雪山縦走 (旭岳RW-旭岳-裏旭-北鎮岳-愛山溪温泉)orその逆
- 大雪山縦走 (旭岳RW-旭岳-裏旭-白雲岳-旭岳RW)orその逆
- 大雪山・十勝連峰縦走 (旭岳RW-旭岳-裏旭-忠別岳-トムラウシ-十勝連峰)orその逆
- その他

〔考察〕 裾合平経由の旭岳周回コースと旭岳-黒岳縦走の人气が高く、合わせると70%を占めた。

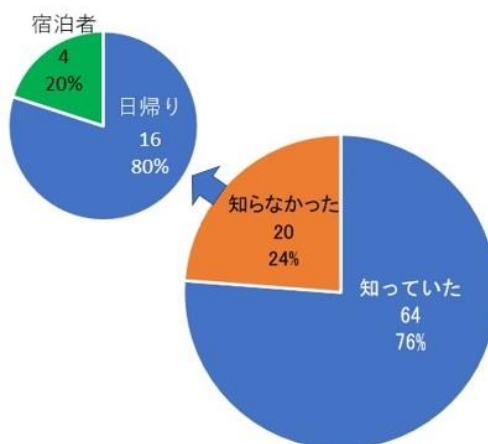
問3 (通過者) 今回の登山のパーティー構成について



n=84

〔考察〕 アンケートを依頼した時間帯の通過者は、グループ登山が65%と多かった。

問4 (通過者) 大雪山全域で携帯トイレの利用をお願いしていることをご存知でしたか?

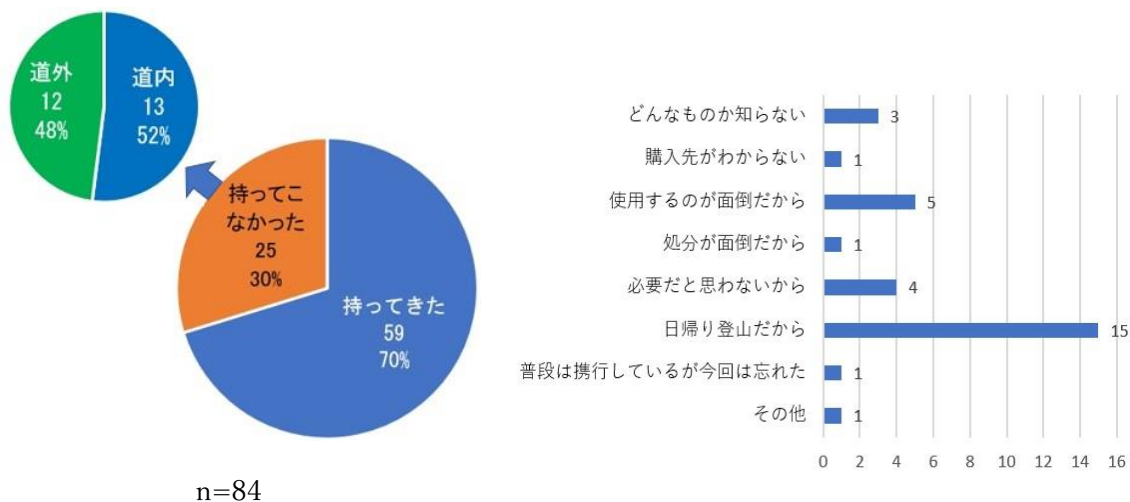


n=84

〔考察〕 アンケートを依頼した時間帯の通過者の認知率は76%とやや高かったが、宿泊者(94%)と比べたら低い割合であった。「知らなかった」の80%が日帰り登山者であった。

問5 (1) (通過者) 今回の大雪山登山では、携帯トイレを持ってきましたか？

問5 (2) (通過者) 携帯トイレを持ってきていない理由について (複数回答可) n=31



n=84

〔考察〕 1) アンケートを依頼した時間帯の通過者の携帯トイレ持参率は70%であった。持って

きていない登山者は30%であった。宿泊者の4%と比べると未持参の割合が高い。

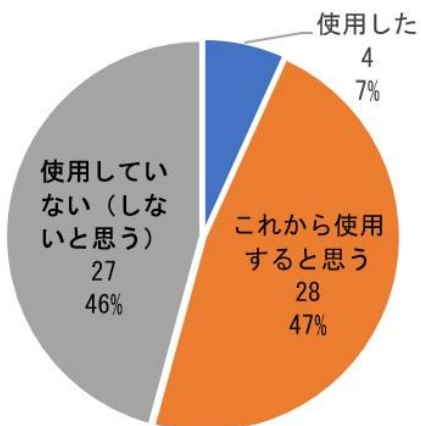
持参していない登山者で道内と道外を比較すると半々であった。

2) 携帯トイレを持ってきていない理由に「日帰り登山だから」n=15が目立った。

問6 (通過者) 携帯トイレを持参した方に伺います。n=59

(1) 携帯トイレを使用しましたか (これから使用しますか)？

(2) 携帯トイレを使用していない (しないと思う) 理由は何ですか？ (複数可) n=25

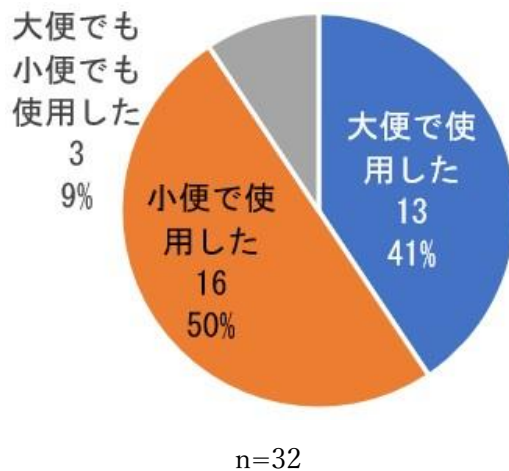


n=59



〔考察〕 1) 携帯トイレを持参した通過者（n=59）の中で「使用しない」という登山者が 46%（n=27）存在し、その理由の主な内容は、「ブース等の場所の問題が 36%, n=9」「便意を催さない(小便だけだから)が 52%, n=13」であった。「便意を催さない(小便だけだから)」回答は、小便には携帯トイレを使用しない登山者と思われる。

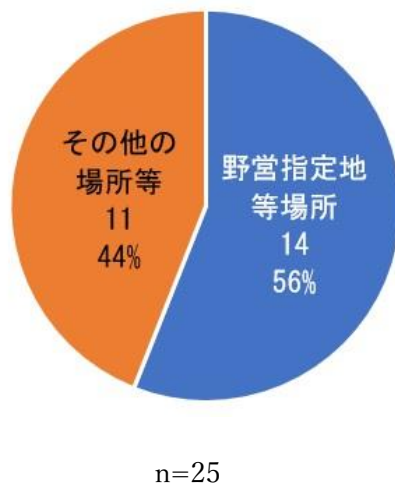
問 7 （通過者）使用した（これから使用するも含む）のは大便ですか、小便ですか？ n=32



〔考察〕 アンケートを依頼した時間帯の中の携帯トイレを使用する通過者（n=32）の内、携帯トイレを大便で使用した（これから使用するも含む）と回答は、41%, n=13 であった。これは大便にのみ使用し、小便には携帯トイレを使用しない登山者と思われる。

（注）全ての選択肢にこれからするも含む

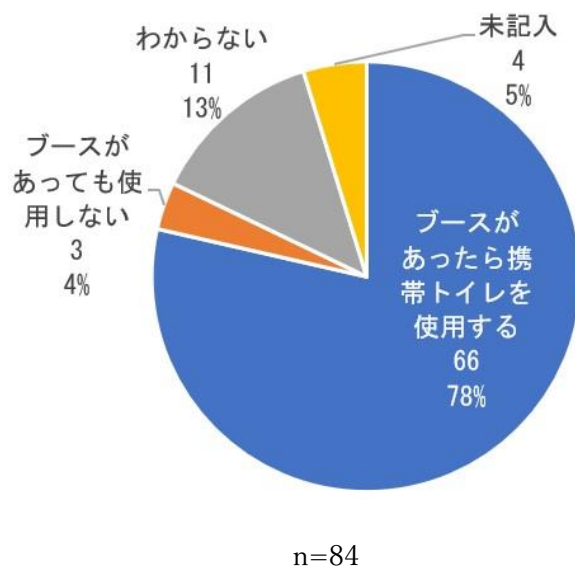
問 8 （通過者）携帯トイレを使用した場所はどこですか（これから使用する予定場所も可）



■野営指定地等場所では「黒岳石室」「トムラウシ南沼」など

■その他の場所では「中岳温泉」「ブースのある所」「岩陰」など

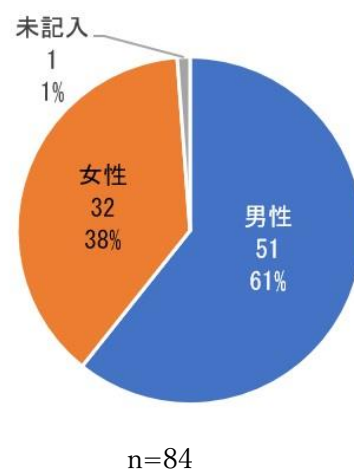
問 9 (通過者) いま通過する裏旭には携帯トイレブースは設置されていません。裏旭に携帯トイレブースが設置されたら立寄り、携帯トイレを使用しますか？



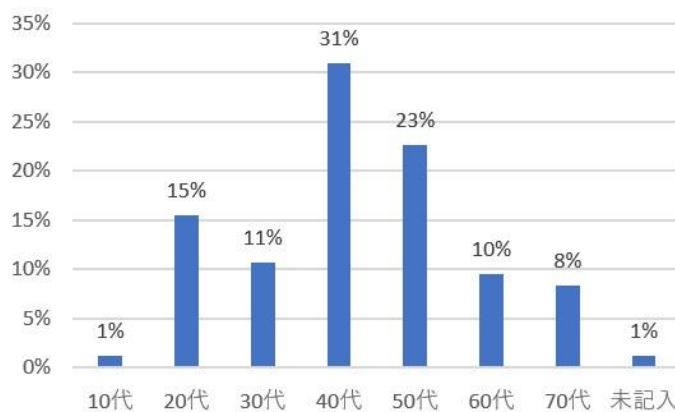
〔考察〕 アンケートを依頼した時間帯の通過者 (n=84) の内、78% (n=66) が裏旭に携帯トイレブースが設置されたら立寄って利用すると回答した。裏旭野営指定地に携帯トイレブースが設置された場合には、テント宿泊登山者と併せて通過登山者にも利用され、大雪山のトイレ環境改善に効果が上がると想定される。

問 10 (通過者) 性別について

〔考察〕 アンケートを依頼した時間帯の通過登山者の性別は、男性約 61%、女性約 38% であった。



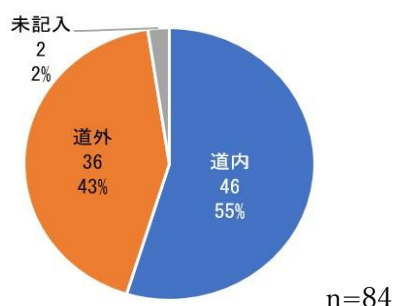
問 11 (通過者) あなたの年齢について



n = 84

〔考察〕 アンケートを依頼した時間の通過者の年齢は、20代～70代まで幅広く構成していた。

問 1 2 (通過者) あなたのお住いの都道府県と市町村について



〔考察〕 アンケートを依頼した時間帯の
通過者の住所は、道内 55%、道外
43%であった。

その他 ; (通過者) アンケート回答者の自由記載によるご意見・感想 (順不同)

- ① 裏旭野営指定地への携帯トイレブースは必要である。
- ② 暑い中のアンケート調査、お疲れ様です。
- ③ 携帯トイレブース等の管理は大変だがトイレがあると本当にありがたい。
- ④ グループ登山ではリーダーがいて良かった。野営地は風がすごく強い場所である。
- ⑤ 携帯トイレは必ず持参してもらうようにアピールしていくことが大切である。

その他に得た情報 ; 実施報告書から得られたテント数

裏旭では主たるテント場と旭岳東斜面の大雪溪から流れる小川を挟んだ向かい側の裸地にもテントを張っている。実施報告書では主たる場所のテント数と、小川向かいのテント数も報告を得た。7 回の実施報告書での総テント数は 67 張。そのうち小川向かいエリアのテント数は 15 張 (22%) (図 1 参照) だった。小川の向かいにも 2 割強の割合でテントを張っていた。

(図 1) エリア別の設営テント数 (写真提供 : 環境省)



3-3. 登山者アンケート調査 全体結果のまとめ

- ①裏旭を利用した宿泊登山者は、携帯トイレ使用の情報に対しての認知率(知っている割合)が94%、携帯トイレ持参率(持ってきている割合)も94%と非常に高率であった。登山者へ周知の効果はあがっているため、今後ともいろいろな方法を検討して広報を強化、継続していくことが重要である。
- ②裏旭は、携帯トイレを使用する際に身を隠す場所がない。それにもかかわらず持参した登山者の92%は、とまどいながら苦労して何とか携帯トイレを使用している。テントの中で使用する人が33%存在と驚きであった。その他に「テントから離れた岩陰」、「テントから遠く離れた沢形の先」、「テントからある程度離れた場所(小さく見えてもかまわず)」、テント周辺の草地(夜間)」と多岐に亘った。いずれもテント場の周囲の高山植物帯の中に踏み入って対応している。
- ③宿泊登山者の9割強が裏旭に携帯トイレブースの設置(トイレ設置要望も含む)を望んでいる。通過登山者では8割弱が「携帯トイレブースがあれば立寄り利用する」と答えている。なお、通過者も利用することを考慮した場合、ブースの設置位置はテント場の奥側ではなく、登山道と分岐した直ぐの入口側とすることが必要になる。
- ④裏旭は、現状ではトムラウシ南沼野営指定地のようにトイレ道が周囲に出来ているわけではないが自然は脆弱である。今の時点こそ、登山者のため及び大雪山の生物多様性を守るためにも裏旭に携帯トイレブース設置が強く求められる。

4. 定点カメラによる設営テント数調査

山のトイレを考える会では、前項までの登山者アンケート調査とは別に、裏旭野営指定地を利用する登山者数の把握の必要性を感じていた。この度の登山者アンケート調査と同時に裏旭での設営テント数調査を実施して、2つの調査データを関連付け、宿泊利用登山者数を試算・把握することを試みた。

1) 裏旭の設営テント数調査の目的

裏旭での日別の設営テント数を把握し、別途調査によって得る裏旭テント1張り中の登山者数の代表試算数と関連付けることにより裏旭の宿泊利用者数を推計するため。

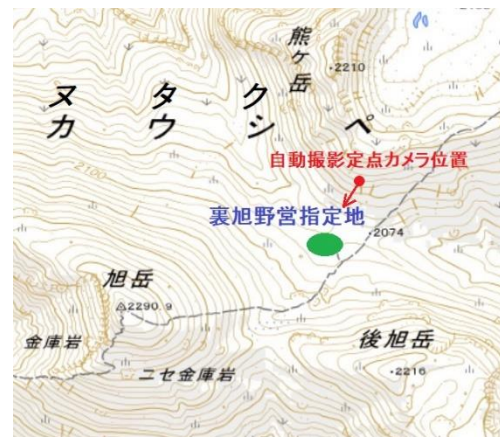
2) 裏旭の設営テント数調査の概要

裏旭を俯瞰できる熊ヶ岳（2,210 m）の斜面上に自動撮影の定点カメラを設置して裏旭を撮影し、後日回収した写真撮影画像データから写っている日別テント数を人為でカウントすることにより数を把握する。撮影は1時間に1回の自動撮影で、日没後も撮影を行うがストロボを使わないため夜間の写真は使用できない。また日中でも濃霧の時には、テントが判別できない写真画像しか得られない場合もあった。

なおこの方法は、2017年、2018年、2019年にトムラウシ汚名返上プロジェクトの一環で環境省上士幌管理官事務所によりトムラウシ南沼野営指定地での設営テント数の把握調査で採用され、有効と認められた方法である。



自動撮影定点カメラの設置様子



裏旭と定点カメラの位置関係

3) 設営テント数の調査期間

調査期間は2021年7月10日～9月20日。調査日数は73日であった。1日に撮影された画像のうち、テントを判別できる画像が1枚もなかった日を欠測日とした（1枚でも判別できる画像があれば、撮影時刻にかかわらず採用した）。

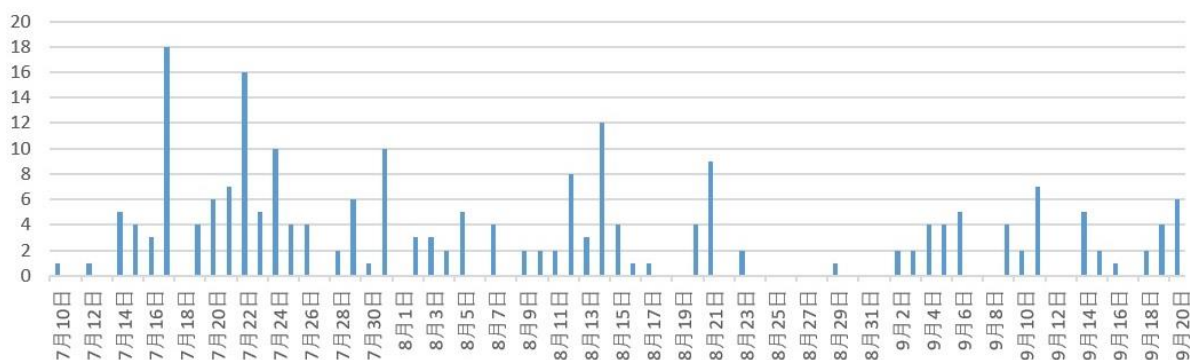
カメラ等の機材は山のトイレを考える会で準備し、カメラの設置・撮影設定・撤収は上村哲也氏（環境省上士幌管理官事務所 自然保護官補佐）に勤務時間外のボランティアにて協力頂いた。

なお、定点カメラ設置にあたっては、環境省北海道地方環境事務所へ「特別保護区域内工作物の新築許可申請書」を提出し、許可を得て実施した。

4) 設営テント数の調査結果

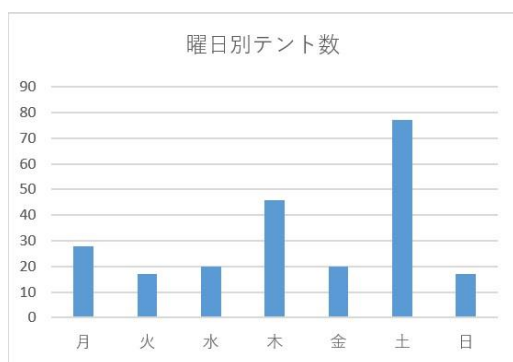
日別のテント数を（図2）に示す。調査日数73日のうち欠測日は、のべ12日であった。

（図2）日別テント数

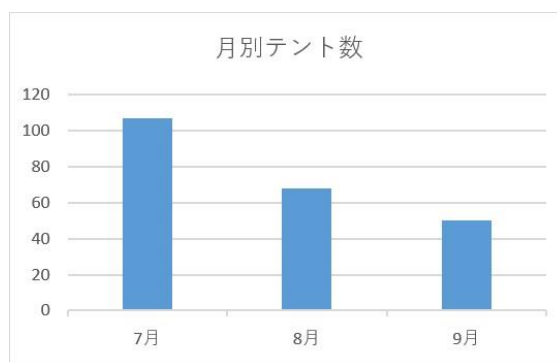


曜日別のテント数と月別のテント数を（図3）と（図4）に示す。

（図3）曜日別テント数



（図4）月別テント数



日別テント数の上位 5 位を（表 1）に示す。

（表 1）裏旭の日別テント数上位 5 位

	日付	曜日	テント数	撮影時刻
1	7 月 17 日	土	1 8	19:02
2	7 月 22 日	木（祝※）	1 6	19:02
3	8 月 14 日	土	1 2	18:08
4	7 月 31 日	土	1 0	18:01
5	8 月 21 日	土	9	翌日 4:00

欠測日を除いた撮影日 61 日間の
テント設営数は、計 225 張。
1 日当たりの平均設営テント数は、
3.69 張。日最大テント数は 18 張
であった。

※7 月 23 日も祝日

（図 5）自動撮影された画像



5) 設営テント数の考察

①定点カメラによる設営テント数調査では、2021 年度は 1 日当たりの平均設営テント数が 3.69 張と試算された。

②定点カメラによる調査期間ではテント数の最大値は 18 張であった。

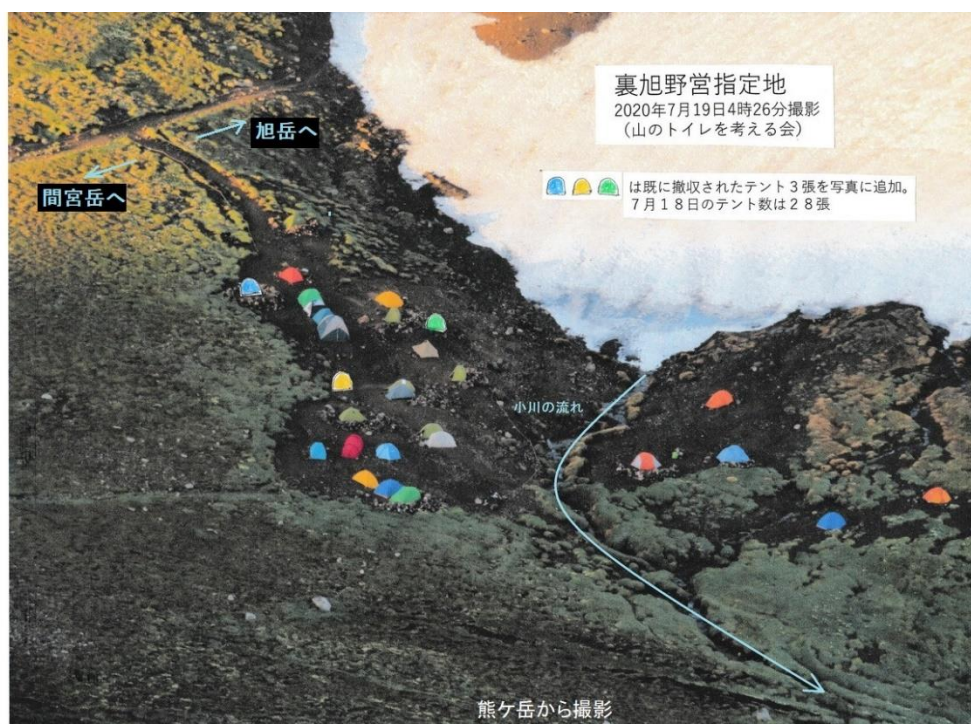
今年度(2021 年度)のテント数の最大値 18 張は、昨年度(2020 年度)の最大値と思われる 28

張に比べると大きく減少している。これは、2021 年度において新型コロナ感染拡大による登山動向変化の影響が考えられるが、詳細については複数年に亘るデータで考察する必要がある。

③曜日別では土曜日のテント数が多く、日別テント数上位 5 位のうち 4 日を占める。次いで多いのが木曜日。7 月 22 日（木）と 23 日（金）が祝日であったことから 22 日のテント数が影響していると推測される。

（参考）2020 年 7 月 18 日～19 日（山トイレ会が 1 泊 2 日で調査）は 28 張だった。

その時に熊ヶ岳から俯瞰して撮影した写真を示す。



6) 宿泊登山者数の推計

裏旭の宿泊者数を推計するために、登山者アンケート調査の宿泊者用 問3 の回答内容から 1 張当たりのテント泊者人数を分析・推計し、宿泊登山者数を試算する際に使用した。

調査日にアンケート調査に回答した登山者のテント数は、合計 56 張。アンケート回答内容から合計 75 人が宿泊していた。∴1 張当たり平均 1.34 人が宿泊していた。（調査員から提出された実施報告書を集計すると 67 張が確認されているが、そのうちの 11 張はアンケー

トを依頼・回収できなかったテントである)

推計試算するための基準数値は、1日当たりの平均設営テント数は3.69張。テント1張当たり平均1.34人が宿泊。テント設営可能期間を7月10日～9月31日とすると総日数は114日。 $\therefore 3.69 \text{ 張/日} \times 1.34 \text{ 人/張} \times 114 \text{ 日/設営可能期間} = 563 \text{ 人}$ 。
2021年の裏旭でのテント宿泊者数は、約560人と推計される。

5. 登山者アンケート調査に関する資料

1) 裏旭野営指定地の携帯トイレに関するアンケート用紙（宿泊者用,通過者用）

宿泊者用アンケート用紙 通過者用アンケート用紙

2) 裏旭野営指定地・アンケート調査 実施報告書

3) 登山者アンケート調査を担当した調査員の感想

4) アンケート調査員が撮った写真

大雪山・裏旭野営指定地の“携帯トイレ”に関するアンケート

大雪山・裏旭野営指定地での携帯トイレ利用に関して、ご意見を伺うものです。ご回答いただいた内容は、統計的に処理され、回答がそのまま公表されることはございません。ご協力をお願いいたします。

裏旭野営指定地 携帯トイレ検討連絡会(仮称)

ご意見連絡先；事務局 山のトイレを考える会 Email；hokkaido@yamatoilet.jp

～ 今回の登山コース等についてお伺いします ～

問 1. 山中何泊の登山ですか？ 下線部に記入してください。 _____ 泊 _____ 日
前泊があった場合、その泊地： _____ ， 次泊がある場合、その予定泊地： _____

問 2. 今回の登山コースはどれですか？ 下線部に記入及びあてはまるものに○をしてください。
(登山口： _____ 下山口(予定)： _____)

- 1: 旭岳周回 (旭岳 RWー旭岳ー裏旭泊ー間宮岳ー裾合平ー旭岳 RW) RW; ロープウェイ
- 2: 旭岳ー黒岳縦走 (旭岳 RWー旭岳ー裏旭泊ー黒岳ー黒岳 RW, or その逆)
- 3: 大雪山縦走 (旭岳 RWー旭岳ー裏旭泊ー北鎮岳ー愛山溪温泉, or その逆)
- 4: 大雪山縦走 (旭岳 RWー旭岳ー裏旭泊ー白雲岳ー _____ , or その逆)
- 5: 大雪山・十勝連峰縦走 ((旭岳 RWー旭岳ー裏旭泊ー忠別岳ートムラウシーー十勝連峰ー _____ or 逆)
- 6: その他 (_____)

問 3. 今回の登山のパーティー構成について、あてはまるものに○をつけてください。

- 1: 単独 2: _____ 人パーティー(テント _____ 人) →パーティーの属性を以下から選択して下さい。
(a: 友人・家族 b: 社会人山岳会 c: ツアー登山 d: 学生山岳部 e: その他 _____)

～ 裏旭野営指定地での携帯トイレの利用に関連してお伺いします ～

問 4. (1) 大雪山全域では携帯トイレの利用をお願いしていることをご存知でしたか？

- 1: 知っていた 2: 知らなかった

問 5. (1) 今回の登山で、裏旭野営指定地に携帯トイレを持ってきましたか？

- 1: はい →問6へ 2: いいえ →(2)を回答の後、問9へ

(2) 携帯トイレを持ってきていない理由について、あてはまるものに○をつけて下さい。

(複数可)

- 1: どんなものか知らない 2: 購入先がわからない 3: 携帯トイレは使用するのが面倒だから
4: 臭いが心配だから 5: 汚物をザックに入れるのは嫌だから 6: 処分が面倒だから
7: お金がかかるから 8: 必要だとは思わないから
9: 普段は携行しているが今回は忘れた 10: その他(_____)

裏面へ続く

問 6. 裏旭では携帯トイレブースが設置されていませんが持参した携帯トイレはどうしますか？

(1) 裏旭野営指定地で携帯トイレを使用しましたか(これから使用しますか)？

1: 使用した →問7へ 2: これから使用すると思う(翌朝も含む) →問7へ

3: 使用していない(しないと思う) →(2)を回答の後、問9へ

(2) 携帯トイレを使用していない(しないと思う)理由は何ですか？(複数可)

1: 携帯トイレブースがないから 2: 携帯トイレを使う際の隠れる場所がないから

3: 便意を催さないから(小便だけだから) 4: 携帯トイレは使用に時間がかかるから

5: これから縦走が遠く、使用済み携帯トイレを持ち歩くのがイヤだから

6: 天気が悪くて使いにくいから 7: その他(_____)

問 7. 使用したのは大便ですか、小便ですか？

1: 大便で使用した(これからする) 2: 小便で使用した(これからする)

3: 大便でも小便でも使用した(これからする)

問 8. 裏旭野営指定地のどの場所で携帯トイレを使用しましたか(これから使用しますか)？

1: テントから遠く離れた沢形の先(見えない場所) 2: テントから離れた小さな岩陰

3: テントからある程度離れた場所(小さく見えてもかまわない) 4: テント付近の草地(夜間)

5: テントの中 6: その他(_____)

問 9. 裏旭野営指定地のトイレ問題について、あなたの考えをお聞かせ下さい。次の中から選んで○をつけてください。

1: 携帯トイレブースを設置する 2: 環境配慮型 山岳トイレを設置する

3: 現状のままでよい

4: その他(_____)

～ あなたご自身についてお伺いします ～

問 10. あなたの性別はどちらですか？ (1: 男性 2: 女性)

問 11. あなたの年齢について、あてはまるものに○をつけて下さい。

1: 10代 2: 20代 3: 30代 4: 40代 5: 50代 6: 60代 7: 70代以上

問 12. あなたがお住まいの都道府県と市町村をご記入下さい。

(_____)都・道・府・県 (_____)市・町・村

ご意見・ご感想がございましたらお書き下さい。

裏旭 通過者の“携帯トイレ”に関するアンケート

大雪山・裏旭野営指定地での携帯トイレ利用に関して、ご意見を伺うものです。ご回答いただいた内容は、統計的に処理され、回答がそのまま公表されることはございません。ご協力をお願いいたします。

裏旭野営指定地 携帯トイレ検討連絡会（仮称）

ご意見連絡先；事務局 山のトイレを考える会 Email；hokkaido@yamatoilet.jp

～ 今回の登山コース等についてお伺いします ～

問 1. 今回の登山は日帰りですか 山中泊ですか？ a. 日帰り b. 山中泊 ____泊____日
山中泊があった（ある）場合、その泊地：_____, _____

問 2. 今回の登山コースはどれですか？ 下線部に記入及びあてはまるものに○をしてください。
（登山口：_____ 下山口（予定）：_____）

1: 旭岳周回（旭岳 RW－旭岳－裏旭－間宮岳－裾合平－旭岳 RW） RW；ロープウェイ

2: 旭岳－黒岳縦走（旭岳 RW－旭岳－裏旭－黒岳－黒岳 RW, or その逆）

3: 大雪山縦走（旭岳 RW－旭岳－裏旭－北鎮岳－愛山溪温泉, or その逆）

4: 大雪山縦走（旭岳 RW－旭岳－裏旭－白雲岳－_____, or その逆）

5: 大雪山・十勝連峰縦走（旭岳 RW－旭岳－裏旭－忠別岳－トムラウシ－十勝連峰－_____, or 逆）

6: その他（_____）

問 3. 今回の登山のパーティー構成について、あてはまるものに○をつけてください。

1: 単独 2: ____人パーティー →パーティーの属性を以下から選択して下さい。

（a: 友人・家族 b: 社会人山岳会 c: ツアー登山 d: 学生山岳部 e: その他_____）

～ 裏旭野営指定地での携帯トイレの利用に関連してお伺いします ～

問 4. （1）大雪山全域では携帯トイレの利用をお願いしていることをご存知でしたか？

1: 知っていた 2: 知らなかった

問 5. （1）今回の大雪山登山では、携帯トイレを持ってきましたか？

1: はい →問6へ 2: いいえ →(2)を回答の後、問9へ

（2）携帯トイレを持ってきていない理由について、あてはまるものに○をつけて下さい。

（複数可）

1: どんなものか知らない 2: 購入先がわからない 3: 携帯トイレは使用するのが面倒だから

4: 臭いが心配だから 5: 汚物をザックに入れるのは嫌だから 6: 処分が面倒だから

7: お金がかかるから 8: 必要だとは思わないから 9: 日帰り登山だから

10: 普段は携行しているが今回は忘れた 11: その他（_____）

裏面へ続く

問 6. 携帯トイレを持参した方に伺います。

(1) 携帯トイレを使用しましたか(これから使用しますか)？

1: 使用した →問7へ 2: これから使用すると思う(翌朝も含む) →問7へ

3: 使用していない(しないと思う) →(2)を回答の後、問9へ

(2) 携帯トイレを使用していない(しないと思う)理由は何ですか？(複数可)

1: 携帯トイレブースがないから 2: 携帯トイレを使う際の隠れる場所がないから

3: 便意を催さないから(小便だけだから) 4: 携帯トイレは使用に時間がかかるから

5: これから縦走が長く使用済み携帯トイレを持ち歩くのはイヤ 6: トイレがあるから

6: 携帯トイレは非常用だから 7: その他(_____)

問 7. 携帯トイレを使用したのは、大便ですか、小便ですか？

1: 大便で使用した(これからする) 2: 小便で使用した(これからする)

3: 大便でも小便でも使用した(これからする)

問 8. 携帯トイレを使用した場所はどこですか(これから使用する予定場所でも可)？

1: 野営指定地等場所 _____

2: その他の場所等 _____

問 9. いま通過する裏旭野営指定地には携帯トイレブースは設置されていません。

裏旭に携帯トイレブースが設置されていたら立寄り、携帯トイレを使用しますか？

1: ブースがあったら携帯トイレを使用する 2: ブースがあっても使用しない

3: わからない

4: その他(_____)

～ あなたご自身についてお伺いします ～

問 10. あなたの性別はどちらですか？ (1: 男性 2: 女性)

問 11. あなたの年齢について、あてはまるものに○をつけて下さい。

1: 10代 2: 20代 3: 30代 4: 40代 5: 50代 6: 60代 7: 70代以上

問 12. あなたがお住まいの都道府県と市町村をご記入下さい。

(_____)都・道・府・県 (_____)市・町・村

ご意見・ご感想がございましたらお書き下さい。

裏旭野営指定地・アンケート調査 実施報告書

実施年月日 (曜日) [天 候]	2021 年 7 月 11 日 (日) [曇り]		団体名/ 所属先	日本山岳会北海道支部	
			リーダー	井田 雅之	
調査参加人数	4 人	報告者	井田	連絡 Email	

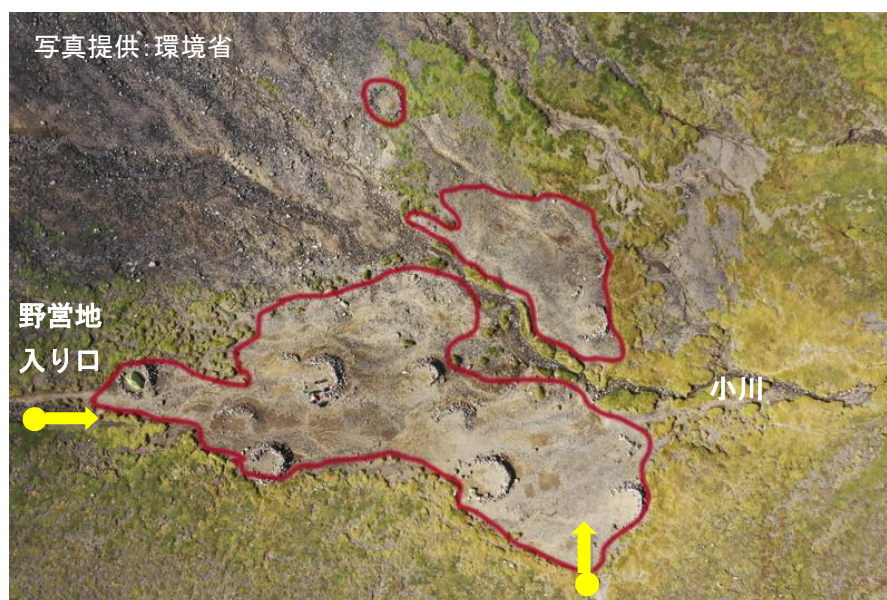
NO	確認項目	結 果
1	テント数 (その内、小川(沢)向いエリアのテント数)	テント数: 0 (その内、小川向いエリアの数:)
2	アンケート調査 枚数 14	宿泊者用: 0 枚 通過者用: 14 枚
3	ティッシュ回収数(※義務ではありません。可能な場合実施願います)	回収数: 1 個 (埋没されたゴミ 1 袋回収いたしました)

【感想・特記事項】

通過の登山者のほとんどが、本州方面からの登山者。ガイドをつけたグループが 2 グループ。皆様、気持ちよくアンケートにご協力いただきました。

私たちグループはアンケート調査に際し、トイレ用テントを持参し使用いたしましたが裏旭野営指定地は隠れるところが全くなく、携帯トイレブースの必要性を強く感じました。

裏旭野営指定地の地形写真(野営地エリアは未確定)。-調査写真はテント数が一番多いと思われる時間帯に 2 地点(黄色矢印)から写真を撮影下さい。



裏旭野営指定地・アンケート調査 実施報告書

実施年月日 (曜日) [天 候]	2021 年 7 月 11 日 (日) [濃霧と雨] ～7 月 12 日 (月) [濃霧]	団体名/ 所属先	山のトイレを考える会
調査参加人数	2 人	報告者	仲俣善雄
		リーダー	仲俣善雄
		連絡 Email	

NO	確認項目	結 果
1	テント数 (その内、小川(沢)向いエリアのテント数)	テント数：1 (その内、小川向いエリアの数：0)
2	アンケート調査 枚数	宿泊者用：2 枚 通過者用：0 枚
3	ティッシュ回収数(※義務ではありません。可能な場合実施願います)	回収数： 個 (雨で活動せず)

【感想・特記事項】

- ・クレーターの様な石積みは 8 箇所。小川向こうに 2 箇所。全て北西からの強風を防ぐ石積みとなっている。
- ・隠れる場所がない。妻は石積みの陰で用を足そうとしたが、旭岳の雪渓を下ってくる登山者の視線が気になると言っていた。
- ・夜中は雨。私はテントの中でピーボトルを使って小をする。

※記入部分不足する場合は任意の様式で追加報告願います。

裏旭野営指定地の地形写真(野営地エリアは未確定)。調査写真はテント数が一番多いと思われる時間帯に 2 地点(黄色矢印)から写真を撮影下さい。



裏旭野営指定地・アンケート調査 実施報告書

実施年月日 (曜日) [天 候]	2021 年 7 月 17 日 (土) [晴れ] ～7 月 18 日 (日) [晴れ]	団体名/ 所属先	北海道山岳連盟
調査参加人数	2 人	報告者	今野聖二
		連絡 Email	

NO	確認項目	結 果
1	テント数 16 (7) (その内、小川(沢)向いエリアのテント数)	テント数: 16 (7) (その内、小川向いエリアの数:)
2	アンケート調査 枚数	宿泊者用: 11 枚 通過者用: 10 枚
3	ティッシュ回収数(※義務ではありません。可能な場合実施願います)	回収数: 0 個

【感想・特記事項】

通過者へのアンケート調査ですが、今回大人数ツアーのグループに行いましたが黒→旭で雪渓の準備に忙しく断られるケースが多々ありました。
また、バインダー3枚、担当2名で行ったため急に大勢では対応できないこともありました。

宿泊者に大してですが、ほとんどの方が協力的に答えていただきました。
ソロが多く、その大半が縦走者でした。
また遅くに着いた方が居たのですが慌ただしく、それどころで無い雰囲気だったので止めました。

アンケートのお願いをして大部分の方に言われたのがトイレ無いの？またブース無いの？
でした
強風で厳しいかと思いますが、設置が必要と思います。

周辺の掃除&ティッシュ調査ですが全く見当たらず、綺麗に使われていました。
2日目は裏旭→中岳温泉→ロープウェイでティッシュ調査と中岳トイレブースの確認を行いました。ティッシュは無く、ブースも綺麗に使われていました。
カウンターは015です

8月にもう一度道岳連当番があるので申し送りをして反省点なども生かすようにしたいと思います。

以上、報告終了します。

※記入部分不足する場合は任意の様式で追加報告願います。

裏旭野営指定地・アンケート調査 実施報告書

実施年月日 (曜日) [天 候]	2021 年 7 月 22 日 (木) [晴れ ~7 月 23 日 () []]	団体名/ 所属先	NPO 法人 大雪山自然学校 旭岳自然保護監視員
調査参加人数	2 人	報告者	高谷・川村
		リーダー	川村兼仁
		連絡 Email	

NO	確認項目	結 果
1	テント数 (その内、小川(沢)向いエリアのテント数)	テント数：13 (その内、小川向いエリアの数： 3)
2	アンケート調査 枚数	宿泊者用： 15 枚 通過者用： 5 枚
3	ティッシュ回収数(※義務ではありません。可能な場合実施願います)	回収数： 0 個

【感想・特記事項】

4 連休の初日のためテント泊者が多く日でした。女性の方も多く、アンケート時には、やはりこちらにも携帯トイレブースがあると助かる、といった声も寄せられました。翌日は、中岳温泉経由で姿見に戻りましたが、中岳温泉の携帯トイレブースでは利用している方もいたので、やはり便利な様子です。ゴミの放置の観点からも裏旭には期間限定でもいいので、私も携帯トイレブースがあると非常に便利だと感じました。(高谷)

始めに 今回山のトイレを考える会参加出来てありがとうございます、テン場で泊まる方が沢山いて皆さん快くアンケート調査に答えて頂き感謝しております。自分印象的だった、登山者の方は30年の付き合いの大学の友達三人組がいらしていました、携帯トイレの存在も始めて知ったとの事でした。このアンケートを通して意識が変わってくれたら良いなと思いました、裏旭岳野営場は水場も近いので環境に対する影響も強いので、携帯トイレブースがあったら良いと感じました、ある事によってキャンプする方々の意識も変わると思います。ブースの維持管理も大変だと思いますが、必要性を感じる意味のあるアンケート調査になりました。

<川村>

※記入部分不足する場合は任意の様式で追加報告願います。

裏旭野営指定地の地形写真(野営地エリアは未確定)。調査写真はテント数が一番多いと思われる時間帯に2地点(黄色矢印)から写真を撮影下さい。

裏旭野営指定地・アンケート調査 実施報告書

実施年月日 (曜日) [天 候]	2021 年 7 月 24 日 (土) [曇り] ～7 月 25 日 (日) [晴れ]	団体名/ 所属先	道央地区勤労者山岳連盟 自然保護委員会
調査参加人数	12 人	報告者	伊吹
		連絡 Email	

NO	確認項目	結 果
1	テント数 (その内、小川(沢)向いエリアのテント数)	テント数：15 (その内、小川向いエリアの数：4)
2	アンケート調査 枚数	宿泊者用：17 枚 通過者用：16 枚
3	ティッシュ回収数(※義務ではありません。可能な場合実施願います)	回収数：0 個

【感想・特記事項】

1. テント数の内訳：①一般の宿泊者：2人パーティーが1 テント数が2 男1、女1
単独パーティーが3 テント数が3 男1、女2
②調査パーティー：12人 テント数が10 男8、女4
2. ツェルト式トイレブースを設置して調査パーティーが使用した。
3. ツェルト式トイレブースの使用説明に一般の登山者の女性3名が参加した。

※記入部分不足する場合は任意の様式で追加報告願います。

裏旭野営指定地の地形写真(野営地エリアは未確定)。-調査写真はテント数が一番多いと思われる時間帯に2地点(黄色矢印)から写真を撮影下さい。



裏旭野営指定地・アンケート調査 実施報告書

実施年月日 (曜日) [天 候]	2021 年 7 月 3 1 日 (土) [晴れ] ～8 月 1 日 (日) [霧雨]	団体名/ 所属先	山のトイレを考える会
調査参加人数	4 人	報告者	仲俣善雄
		連絡 Email	

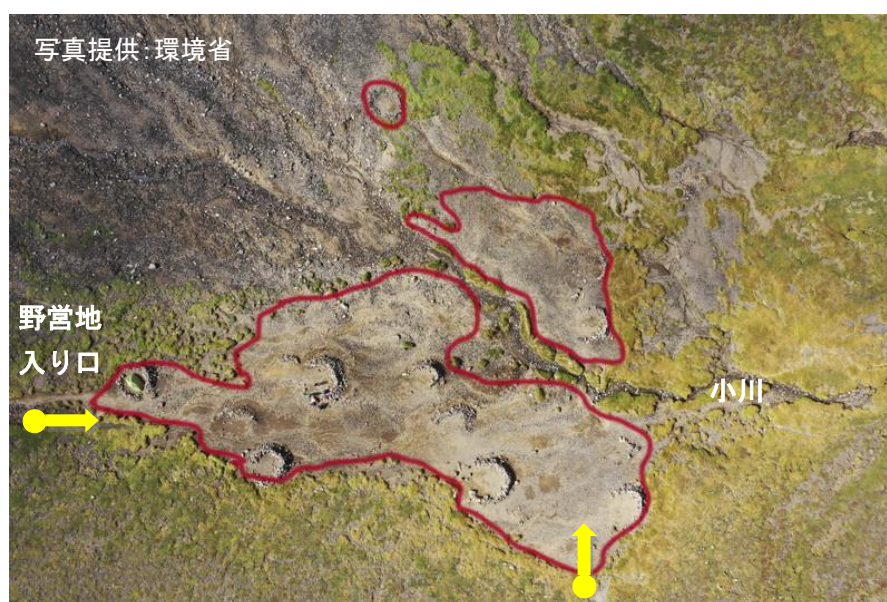
NO	確認項目	結 果
1	テント数 (その内、小川(沢)向いエリアのテント数)	テント数：10 (全てソロ) (その内、小川向いエリアの数：2)
2	アンケート調査 枚数	宿泊者用：10 枚 通過者用：0 枚
3	ティッシュ回収数(※義務ではありません。可能な場合実施願います)	回収数：3 個

【感想・特記事項】

- ・2日間とも山トイレの幟を持って旭岳を往復した。珍しいのか質問と写真撮影者も多く、SNSの投稿が期待できる。広報効果があったと思う。
- ・裏旭1日目14時着～2日目8時30分発まで、通過者は1人もいなかった。
- ・小さな岩陰のティッシュ3個回収
- ・小川(沢)が北東に流下した先(約150m)は人間が隠れるが、ティッシュは全く無く綺麗だった。
- ・尿(Pee)ボトルを使っている人がいた。

※記入部分不足する場合は任意の様式で追加報告願います。

裏旭野営指定地の地形写真(野営地エリアは未確定)。調査写真はテント数が一番多いと思われる時間帯に2地点(黄色矢印)から写真を撮影下さい。



裏旭野営指定地・アンケート調査 実施報告書

実施年月日 (曜日) [天 候]	2021 年 8 月 7 日 (土) [晴] ～ 月 日 () []	団体名/ 所属先	札幌山岳連盟 北海学園大学Ⅱ部山岳部北海岳友会
調査参加数	2 人	報告者	野田 耕市
		リーダー	野田 耕市
		連絡 Email	

NO	確認項目	結 果
1	テント数 (その内、小川(沢)向いエリアのテント数)	テント数：0 (その内、小川向いエリアの数：0)
2	アンケート調査 枚数	宿泊者用：0 枚 通過者用：44 枚
3	ティッシュ回収数(※義務ではありません。可能な場合実施願います)	回収数：4 個

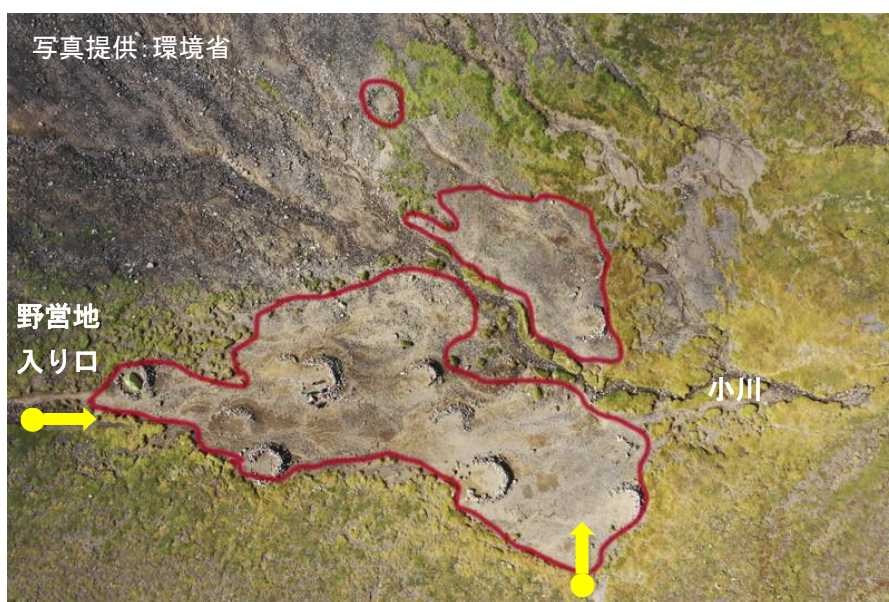
【感想・特記事項】

- ・通過の登山者の殆どの方が足を止めて、快くアンケートにご協力いただきました。
- ・アンケート調査の趣旨を説明した際には、多くの皆様から携帯トイレブースの必要性を感じるとの声が寄せられました。
- ・アンケート調査を終えた後、裏旭野営指定地周辺のティッシュ回収を行いました。綺麗に使用されていると感じました。

ただ、風で飛ばされたのでしょうか、小さなポリ袋が数枚落ちているのが確認されました。

※記入部分不足する場合は任意の様式で追加報告願います。

裏旭野営指定地の地形写真(野営地エリアは未確定)。-調査写真はテント数が一番多いと思われる時間帯に2地点(黄色矢印)から写真を撮影下さい。



裏旭野営指定地・アンケート調査 実施報告書

実施年月日 (曜日) [天 候]	2021 年 8 月 21 日 (土) [晴・曇] ～ 月 22 日 (日) [晴]	団体名／ 所属先	北海道山岳連盟
調査参加人数	2 人	報告者	田中
		連絡 Email	田中清子

NO	確認項目	結 果
1	テント数 (その内、小川(沢)向いエリアのテント数)	テント数： 9 (その内、小川向いエリアの数： 1)
2	アンケート調査 枚数	宿泊者用： 11 枚 通過者用： 1 枚
3	ティッシュ回収数 (※義務ではありません。可能な場合実施願います)	回収数： 0 個

【感想・特記事項】

- ・最近の排便後が 1 箇所確認できましたが、コロナ禍で感染の心配等もあり回収出来なかった。
- ・私達女性にとってトイレブースが無い状態での携帯トイレの使用は大変でした。テント内でしたと思いますが 2 名で 1 張の為それも難しく結局夜が更けるまで我慢したり翌朝は男性が発してから使用した次第です。トイレブースが無理ならせめて石を積んで隠れる場所があると助かるのと思いました。
- ・21 日午後 8 時過ぎに 3 名の登山者 (テント 2 張り) が来ましたが、早朝 4 時 30 分に出発の為写真・アンケート調査は出来ませんでした。

※記入部分不足する場合は任意の様式で追加報告願います。

裏旭野営指定地の地形写真(野営地エリアは未確定)。-調査写真はテント数が一番多いと思われる時間帯に 2 地点(黄色矢印)から写真を撮影下さい。



裏旭野営指定地・アンケート調査 実施報告書

実施年月日 (曜日) [天 候]	2021 年 8 月 28 日 (土) [曇り] ～ 8 月 29 日 (日) [曇り]	団体名/ 所属先	大雪と石狩の自然を守る会
調査参加人数	7 人	報告者	沓澤 克嘉
		連絡 Email	

NO	確認項目	結 果
1	テント数 (その内、小川(沢)向いエリアのテント数)	テント数： 3 (その内、小川向いエリアの数： 0)
2	アンケート調査 枚数 11	宿泊者用： 6 枚 通過者用： 5 枚
3	ティッシュ回収数 (※義務ではありません。可能な場合実施願います)	回収数： 0 個

【感想・特記事項】

- ・28日、29日ともガスと強風でトイレブースを建てる状況ではなく岩陰で携帯トイレを使用
- ・悪天候でテントにて停滞している登山者はこれから富良野岳までの縦走を予定していて持つて歩くのが嫌なので使わないとの事でした。
- ・通過者3名は悪天候で引き返そうとしていたところたまたま今回の日帰り調査にきた調査員とともにきて、快く調査に協力してくれました。
- ・トイレとは直接関係ないことですが宿泊者がガスで野営地の入り口が分からなくて野営地ではない所に初日テントを張ったそうです。

※記入部分不足する場合は任意の様式で追加報告願います。

裏旭野営指定地の地形写真(野営地エリアは未確定)。調査写真はテント数が一番多いと思われる時間帯に2地点(黄色矢印)から写真を撮影下さい。



登山者アンケート調査を担当した調査員の感想

- ①私達グループはアンケート調査に際し、トイレ用テントを持参して使用したが、裏旭野営指定地は隠れるところが全くなく、携帯トイレブースの必要性を強く感じた。
- ②裏旭は、隠れる場所がない。同行者（女性）は「石積みの陰で用を足そうとしたが、旭岳の雪渓を下ってくる登山者の視線が気になった」と言っていた。
- ③アンケートのお願いをした大部分の方に言われたのが「トイレ無いの？またブース無いの？」だった。強風で厳しい条件だが、設置が必要と思う。周辺の掃除&ティッシュ調査については、全く見当たらず、綺麗に使われていた。
- ④4連休の初日のためテント泊者が多い日だった。女性の方も多く、アンケート時には「やはりここにも携帯トイレブースがあると助かる」という声が寄せられた。ゴミの放置の懸念もあるが、裏旭には期間限定でもいいので、携帯トイレブースがあると非常に便利だと感じた。
- ⑤テント場で泊まる方が沢山いて皆さん快くアンケート調査に答えて頂き感謝だった。印象的だったのは、登山者の中に30年来の大学の友達三人組がいて会ったが携帯トイレの存在を初めて知ったとの事だった。このアンケートを通して意識が変わってくれたら良いなと思った。裏旭野営場は水場も近いので環境に対する影響も強く、携帯トイレブースがあったら良いと感じた。ブースがある事によってキャンプをする方々の意識も変わると思う。ブースの維持管理は大変だと思うが、必要性を感じる意味のあるアンケート調査となった。
- ⑥ツェルト式トイレブースを設置して調査パーティーが使用した。ツェルト式トイレブースの使用説明に一般の登山者の女性3名が参加した。
- ⑦2日間とも活動の幟を持って旭岳を往復した。珍しいのか質問や写真撮影者も多く、SNSの投稿が期待でき、広報効果があったと思う。小川（沢）が北東に流下した先（約150m）は人間が隠れるが、ティッシュは全く無く綺麗だった。尿（Pee）ボトルを使っている人（男性）がいた。
- ⑧アンケート調査の趣旨を説明した際には、多くの皆さんから「携帯トイレブースの必要性を感じる」との声が寄せられた。アンケート調査を終えた後、裏旭野営指定地周辺のティッシュ回収を行ったが、綺麗に使用されていると感じた。
- ⑨私達女性にとってトイレブースが無い状態での携帯トイレの使用は大変だった。テント内でも思ったが2名で1張の為それも難しく、結局夜が更けるまで我慢。翌朝は男性が出発してから使用した次第である。トイレブースが無理ならせめて石を積んで隠れる場所があると助かるのと思った。
- ⑩両日ともガスと強風でトイレブースを建てる状況ではなく岩陰で携帯トイレを使用した。悪天候でテントにて停滞している登山者からは「これから富良野岳までの縦走を予定していて持って歩くのが嫌なので使わない」との事だった。宿泊者が、初日にガス（濃霧）で野営地の入り口が分からなくて野営地ではない所にテントを張ったそうである。（分岐に標識が必要）。

アンケート調査員が撮った写真



悪天候の中、通過登山者も協力してくれました



アンケート調査用に建てたテント型仮設ブース



旭岳の大雪渓からの豊富な水に恵まれた裏旭



多くの仲間がアンケート調査に参加してくれました（姿見駅）



ツェルトを利用した仮設ブース



通過者へのアンケート調査



旭岳の登りで登山者にトイレマップを渡す



裏旭のテントは全部で10張でした



多くの宿泊者が協力してくれました



宿泊者は全員出発。最後にテントを撤収



強風なのでテントの中でアンケートを記入いただきました



荒天の中、大変お疲れ様でした

(特記) 撮影した団体名は省略いたしました

6. あとがき

今回（2021 年の夏山シーズン）、北海道の山岳関係団体等の賛同と協力を得て裏旭野営指定地での登山者アンケート調査を協働して実現できたことそのこと自体をよかったと思っている。

また、アンケート調査の目的であった「裏旭での携帯トイレに関する意識調査」及び「宿泊者の排泄状況実態把握」で明らかになったことは、活動の成果が充分にあったと考える。

新型コロナ感染禍が収束していない中、思うに任せない天候状況下でも調査に当たった各団体の下記調査員の方々には、そのご苦勞に心より感謝を申し上げる。

【謝辞】 調査員（順不同）

井田雅之・藤木俊三・橋本香里・佐々木朋代・今野聖二・三浦一恵・川村兼仁・高谷梨奈・

伊吹省道・早坂直樹・松田幸三・倉持壽夫・小関朋美・小池 藍・秋元盛司・山下敬子・長野謙一

多田一義・柳川清和・椎名悠子・仲俣善雄・仲俣敬子・磯部吉克・手嶋真智子・奥野嗣之・

野田耕市・菅 豊一・田中清子・能登範子・沓澤克嘉・増井隆博・佐藤清美・横田則子・相馬 勉

寺前洋己・狗飼友子・上村哲也

今、裏旭野営指定地では、トムラウシ南沼野営指定地のように周囲へのトイレ道は出来てはいない。かつての美瑛富士避難小屋周辺のように排泄物やトイレ紙が散乱してはいない。しかし、現状のままが続けば遠からずトイレ道が出現し排泄物の跡を認めるようになるであろう。登山者にも大雪山の生物多様性を守っていく責務がある。そのためには大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言をし



大雪山・旭岳 裾合平のチングルマ大群落

た多くの行政機関や登山関係団体と共に、宣言で謳われた「登山者に快く携帯トイレを使ってもらえる環境づくり」の実現のための協働に参加して欲しい。本報告書が、裏旭への携帯トイレブース設置実現へ向けて少しでも役に立つことを願っている。

以上

2021 年（令和 3 年）大雪山・裏旭野営指定地への
携帯トイレブース設置に向けたアンケート調査報告書

発行責任者：裏旭野営指定地 携帯トイレ検討連絡会

事務局 山のトイレを考える会 代表 小枝正人

発 行 日：2022 年（令和 4 年）2 月 15 日

連 絡 先：〒004－0061

札幌市厚別区厚別西 1 条 2 丁目 3－18

電子メール hokkaido@yamatoilet.jp

電話：代表・小枝正人 090－5224－5675

本報告書は 2021 年度 ほっくー基金「北海道生物多様性保全助成制度」
の助成金で作成しました



アンケート調査で旭岳に向かう



本報告書は 2021 年度 ほっくー基金「北海道生物多様性保全助成制度」

の助成金で作成しました